

第1学年 生活科学習活動案

学校名 北上市立和賀東小学校
日 時 平成15年10月3日(金)3校時
場 所 多目的ホール
児 童 1年生 男19名 女27名 計46名
授業者 1年1組 畠山 喜代子
2組 佐藤 里美

1. 単元名「アサガオをそだてよう」

2. 単元について

(1)生活科から

生活科の目標は、「具体的な活動や体験を通して、自分と身近な人々、社会及び自然との関わりに関心を持ち、自分自身や自分の生活について考えさせるとともに、その過程において生活上必要な習慣や技能を身につけさせ、自立への基礎を養う。」である。

生活科において、児童に生きる力を育むこと、創意工夫を生かし特色ある教育活動を展開する中で、自ら学び自ら考える力を育成すること、基礎的・基本的な内容の確実な定着を図り、個性を生かす教育の充実に努めることが強調されている。それを受けて、本校にあった活動を計画し児童の状況に即して進めていこうと思ひ朝顔の栽培とサツマイモの栽培を進めている。土に触れ、世話をする活動の中から児童なりに様々な事に気づきそれを次の活動に生かしてほしいと願ひ設定している。

本単元「アサガオを育てよう」は、主として「アサガオ」の種まきから種取りまで一連の植物の成長に気付きながら、児童の思いを広げ、活動・体験をしていくことをねらいながら進めてきた。また、アサガオの学習から他の植物にも目を向けさせながら発展的な取り扱いをしてきた。あいにくなことに、今年は、天候が悪く児童個々のアサガオの成長の差が甚だしいことであまり思うような活動が展開できなかった。その代わり、学校の周りの植物代用での学習が多くなった。

本時は、自分で育てたアサガオの成長を蔓の様子から気付いていくことを中心に活動していくことを考えている。蔓自体は、まだ、使える段階まで育ててはいないが構想しやすいように成長・世話等を振り返り、まとめ的な扱いにもしたいと考えている。

(2)児童の実態から

一年生の児童は、一人一人様々な興味関心があり、活動も多岐に富んでいる。まだまだ自分の思いのみで行動し、グループ活動とまではいかないが、グループを作りまとまって行動するようになってきている。

生活科の学習でもグループは組むものの、個の活動を好みバラけてしまうのが常である。活動そのものも点でばらばらでまとまりの少ない活動が多かった。

アサガオを育てようの学習も種まきから発芽まで同様に個性ある様子であった。もちろん成長も補助木の様子も様々である。世話の仕方までいろいろであった。そんな様子から、児童個々の植物や自然の関わり、感性にまで大きな幅があることを踏まえた支援や活動を組む必要があると考えた。児童個々の思いをある程度汲みながら活動計画を精査することで、ばらばらな活動を集約させながら進めることができるのではないかと考えた。

(3)情報教育から

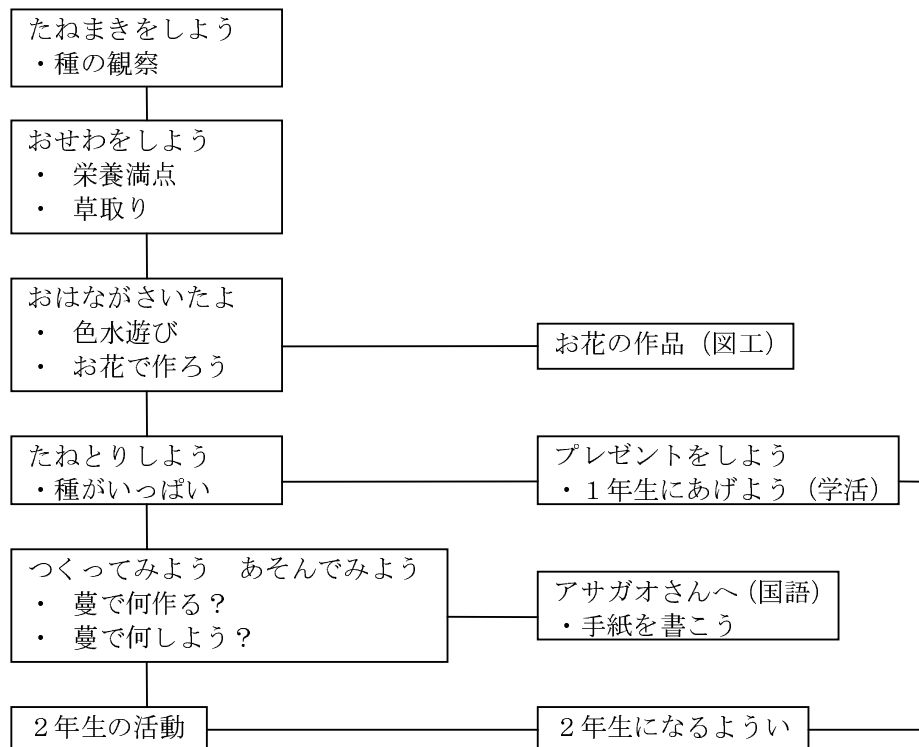
1年生は、入学してからパソコン学習を少しずつ段階的にやってきた。パソコンの簡単な名称、マウスレッスンをしながら慣れ学習をしているところである。今後は、キーボードレッスンや文字パレットにも慣れ親しませていく予定である。

本単元では、教師側からの情報提示としてパソコンを活用しようと思う。児童が観察できない様子をパソコンの映像を見ることで繰り返し必要な情報を知る事が出来る。理解する学習の補助的な物として活用としたいと思う。

3. 単元の目標

自分自身で植物の種をまいたり苗植をしたりして育てることによって、それらの成長の変化に気づき、植物も自分達と同じように生命を持っていることを感じるとともに、親しみを持って世話をすることができるようにし、思い思いの活動をすることができる。

4. 活動の構想



◎基本的な考え

- ・アサガオの栽培の一連の活動を通して、児童個々に命ある花を育てるために水遣りや肥料を与えること、蔓を絡めること等の世話をすることで成長ということを感じさせていきたい。
- ・大事に世話をし、育てたアサガオで活動を工夫させ何か残るものを作らせ、遊びも工夫させて活動を広げたいと考える。
- ・今まで、何気なく観察してきたアサガオの成長の様子をパソコン画像で学習することで目に見えない成長の様子を知り、児童の気付きを増やす。
- ・合同の授業を組むことで児童の意見や考え交流を多くする。
- ・まとめ学習とあえて雁字搦めにせず、何気ない提示を心がけていく。

5. 活動計画 (1 4時間)

活動内容	支援・留意事項	評価
1. 種まき・苗植(4)	<ul style="list-style-type: none"> ・種まきの、時期を考慮して実施。(アサガオ) ・サツマイモの苗植えを教室で事前に学習してから実施。 ・前もって苗床を深堀し、畝を作っておく。 ・ みつけたよカードに記録せる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな花が咲いていることに気づき、自分でも育ててみたいという願いを持つことができる。(関) ・植物によって苗の様子や種の形や色が違うことに気づき、どのように育っていくのかに関心を持つ。(関) ・ 植物を育てることに興味を持ち、土作りや種のまき方に気づく。(気)
2. 草花の世話(4)	<ul style="list-style-type: none"> ・アサガオの成長に合わせて追肥をする。 ・毎日水遣りをする。 ・みつけたよカードに記録させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発芽したことや世話をしている喜びを絵や文で表現することができる。(思) ・水やりや草取りの大切さを知り、継続的に世話をするようになる。(関) ・植物の成長の様子に気づく。(気)

3. 開花(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・成長に合わせて支え棒についても考えさせてから、支柱をやる。 ・早く花が咲いた児童の鉢やまだ芽が出ていない児童の鉢があることも気づかせていく。 ・みつけたよカードに記録させる。 ・花の汁遊びをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・植物の成長の様子を様々の形で表現する。(思) ・植物にはいろいろな色や形があることに気づき、成長の度合いも違うことに気づく。(気) ・葉の表裏、茎やつるなど、植物の部位によって手触りが違うことや、植物によってにおいが違うことにも気づく。(気)
4. 種取り(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・種まきをしたときのことを振り返り収穫について考えさせる。 ・種をどうするかを考えさせる。 ・みつけたよカードに記録させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一つの花から多くの種が取れることに気づく。(気) ・使ってきた道具や花壇の片づけをきちんとするようになる。(関)
5. 作ってみよう・遊んでみよう!(2) 本時 1/2	<ul style="list-style-type: none"> ・長く伸びた蔓や実った種を使って作ったり遊んだりする。 ・活動の中に植物の成長も扱う。(まとめとまでは行かない軽い押さえ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分達が育てたアサガオの蔓やお芋の蔓を使って楽しく活動をする事が出来る。(関)

6. 評価の規準

○関心・意欲・態度

アサガオやサツマイモを育てる活動を通して、自然を大切にしようとする気持ちを持とうとしていたか。

○思考・表現

アサガオを世話したり、花で遊んだりしたときに自分なりに工夫して活動しようとしていたか。

○気づき

アサガオの蔓の成長や種の結実の様子などから植物の成長に気づいたか。

7. 本時の活動

(1)目標

アサガオを大切に世話をしたことで成長し長い蔓になったことを知り、その蔓で何か活動を考えようとする。(G)

(2)活動のステップ

G 目標と同じ

- ① アサガオの蔓が長い間に成長したことに気づくことができる。
- ② 蔓について気づいたことを話し合うことができる。
- ③ 自分のアサガオの蔓を見て、共通の観点(色、長さ、様子)について気づくことができる。
- ④ 今まで活動してきて、蔓だけが残ったことに気づく。

R⑤ たくさん取れた種をどうしたいか、活動を考えたことを振り返ることができる。

R⑥ 今までアサガオの世話や花での遊び、種取りなどの活動をしてきたことを振り返ることができる。

(3)本時の評価規準

- ・アサガオの蔓が長い間に成長したことを知る。
- ・大切に育てた蔓を使って活動を考えようとする。

(4)情報教育との関わり

- ・アサガオの蔓の成長をパソコンを使って映像を繰り返し見せることで、気づきを多くさせる。

(5)展開

学習活動	教師の支援		・留意事項◎評価等	準備物
	T・1	T・2		
1. 学習活動の確認 R⑤、R⑥、④	・本時の学習を確認する。	・投影の準備をする。 ・画像の操作をする。	・1・2組合同の隊形 ・前時までの活動を振り返り本時の課題をつかませる。 ・短時間で振り返りができる	・実物投影機 ・スクリーン

<p>ながいっつるでなにをする？</p> <p>2. アサガオの蔓の生長で、気付いたことを話し合う。 ○気付いたことを出し合う。 ③</p> <p>○今までに見つけていたことを元に話し合う。 ②</p> <p>3. アサガオの蔓の成長は、すごい! ①</p> <p>4. 長く伸びた蔓で何をしようかを考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今までのアサガオの成長について簡単に振り返らせる。 ・課題を知らせる。 ・観察について視点を示し、分かれて話し合うように指示をする。 ・学級毎の隊形に移動させる。 ・学級毎の話し合いを進める。 ・共通の観点に従い簡単に板書する。 ・合同の隊形に戻す。 ・話し合ったことをかいつまんで話す。 ・パソコン操作 ・映像 ・この蔓で何をしようかと問いかける。 ・数名に聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・演示する。 ・課題を板書 ・活動の前に観察するように促す。 ・学級毎の隊形に移動させる。 ・学級毎の話し合いを進める。 ・共通の観点に従い簡単に板書する。 ・合同の隊形に戻す。 ・話し合ったことをかいつまんで話す。 ・2組の共通の事項を要約する。 ・同様の気づきをした児童から話を引き出す。 ・みんなが知らないときに成長していたことを押さえ、映像画像に導く。 ・映像を見た感想を聞く。 ・アサガオの蔓のすごさに気付かせる。 	<p>ように静止画をコンパクトに見せる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今までの活動をしてきて、最後に蔓が残ったことをはっきりさせて課題意識を持たせる。 ・蔓については、「長くなったこと」位に特性を意識させておく。 ・長くなったのは、自分達が世話をしたことにも考えを向けさせておく。 ・1・2組に分かれて話し合う。 ・思いついたことを自由に出させていく。(移動黒板に板書) ・板書で集約する。(共通の観点で) ・合同隊形となり、1・2組の気付いたことを交流する。 ・みつけたよカード等から蔓の成長や巻き付き方にも着目していた内容を紹介し、同様の内容を児童から出させる。 ・蔓の成長の様子をパソコン映像を見せる。 ・短感想を話させ、蔓の成長は、「すごい!」と共感化する。 ◎アサガオの蔓が、長い間に成長したことを気付いているか。(後でみつけたよカードに記入させる) ・児童個々に何をしたいかを考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「はなであそぶ」静止画 ・移動黒板 ・アサガオの鉢 ・みつけたよカード等 ・パソコン ・プロジェクター ・スクリーン ・蔓の運動(動画)
--	---	--	--	--

<p>○思いついたことを話す。 G</p> <p>5. 活動のまとめ</p>	<p>・次回の活動を知らせる。</p>	<p>・数名の児童に発表させてまだ思いつかない児童の参考とする。</p> <p>◎大切に育てた蔓を使って何をしようかを考えようとしていたか。(観察等)</p> <p>・本時の活動を振り返り、次時の活動(蔓で活動)をらせる。</p>	
--	---------------------	---	--